

New Discovery English Communication Ⅲ

学習指導計画案

1. 到達目標

1. 事物に関する紹介や報告，対話や討論などを聞いて，その概要や要点をとらえる能力をさらに伸ばす。
2. 説明，評論，物語，随筆などの様々な内容の英文を，目的に応じて速読や精読を行い，論理展開をとらえることができる。また，聞き手に伝わるように音読や暗唱をする能力をさらに伸ばす。
3. 聞いたり読んだりしたこと，学んだことや経験したことに基づき，英語で論理的に意見を述べたり，発表したり，話し合ったりして結論をまとめる能力をさらに伸ばす。
4. 聞いたり読んだりしたこと，学んだことや経験したことに基づき，情報や考えなどについて，論理的でまとまりのある英文を書く能力をさらに伸ばす。

2. 学習計画および評価方法

(1) 年間学習計画等

学期	月	学習内容とねらい (配当時数) 計 121 時間 (注) 言語材料のうち，*はⅡ巻での学習事項を表す。	備考 (学習活動の特記事項，他教科・総合的な学習の時間・特別活動等との関連など)	考查範囲
		Reading Skill 1 パラグラフの構成を理解しよう (1)		
		Reading Skill 2 文章の構成を理解しよう (1)		
		Reading Skill 3 ディスコースマーカーに注目しよう① (1)		
		Reading Skill 4 ディスコースマーカーに注目しよう② (1)		
		Reading Skill 5 表現の言いかえに注意しよう (1)		
		修飾関係をとらえよう (1)	・ 語句が何を修飾するのかを把握し，正しく読み取る力を養う。	
第 1 学期	4 月	Lesson 1 Festivals in the World! (8) 〈題材〉世界には日本人が驚くような祭りがある。タイの「水かけ祭り」，スペインの「トマト投げ祭り」，ベトナムの「お見合い祭り」の例を通して，異文化理解を深める。 〈言語材料〉 (文法) the 比較級 ~, the 比較級 ... / *関係副詞の非制限用法 / to 不定詞の受け身 (語句) be prepared to do / provide ~ with ... / in hopes of doing / prior to ~	・ 自分の住んでいる地方の祭りについて書き，お互いに発表する。 ・ 調べた祭りを伝える広告やホームページを作成する。 ○ライティング ・ 本文で紹介された祭りや調べた祭りについての目的をグループで考え，クラスで発表する。 ○グループワーク・プレゼンテーションテスト	第 1 学期 中間 考查
	5 月	Lesson 2 One Red Paper Clip (8) 〈題材〉カナダの青年カイル・マクドナルドは，1つの赤いクリップから物々交換をくり返し，最終的に家を手に入れた。おとぎ話のような実話を読む。 〈言語材料〉 (文法) 結果を表す to 不定詞 / 時制の一致 (語句) put one's mind to ~ / before long / be eager to do / be to do / in exchange / a couple of ~	・ 自分が持っている物で交換してもよいと思う物を紹介する。また，交換したい物を持っている相手を探し，交換の交渉をする。 ・ 交換を求めてきた相手に，なぜその物を手に入れたかったのかを尋ねる。また，交換してもらった場合は，相手にその物を手に入れたかった理由を説明する。 ○ペアワーク・スピーキングテスト	

第 1 学 期		Action! 1 旅行の計画 (2) 〈機能・表現〉 驚く / 相づちを打つ / 説明する	・ロールプレイを行い、驚きに関する表現を身につける。また観光地や宿泊施設の説明の仕方を練習する。	第 1 学 期 期 末 考 査		
		Listening Practice 1 (予定について聞く) (1)	・概要を把握し、聞き取るべき情報をとらえる。			
	6 月	Lesson 3 Mother to Birds (8) 〈題材〉 オーストリアの動物行動学者、コンラート・ローレンツ。彼の代表的な研究である「刷り込み」の現象について読む。 〈言語材料〉 (文法) as if+to 不定詞 / no matter+疑問詞 / S+V+形容詞+that 節 (語句) grow out of ~ / put up with ~ / the minute ~ / succeed in ~	・hippo や sloth, また興味ある動物の意外な生態や性質について調べ、情報交換をする。 ・どのような動物に「刷り込み」の現象が起こるのかをグループで調べ、クラスで発表する。 ○グループワーク・プレゼンテーションテスト			
		Lesson 4 The 20-Second Rule (10) 〈題材〉 「三日坊主」を防ぐにはどうしたらよいのだろうか。それには「20秒」という時間がカギを握っている。日常生活のさまざまなシーンでも役立てられる「20秒ルール」とは、どのようなものなのだろうか。 〈言語材料〉 (文法) remember+to 不定詞 / unless+S+V (語句) be anxious to do / fail to do / in the middle of ~ / come up with ~ / 否定語+bother (to do)	・「20秒ルール」の日常生活への活用法について考えて話し合う。また、お互いにアドバイスをし合う。 ○ペアワーク・スピーキングテスト ・「三日坊主」になってしまった経験があれば、そうってしまった理由をグループで話し合い、クラスで発表する。 ○グループワーク・プレゼンテーションテスト			
	7 月	Action! 2 食事でのやりとり (1) 〈機能・表現〉 感謝する / 褒める / 申し出る / 相づちを打つ	・ロールプレイを行い、感謝や褒める表現を身につける。また、食べてみたいハワイの郷土料理とその歴史や名前の由来を調べる。			
		Reading Love at First Sight (5) 〈題材〉 56歳の女性パメラは一人暮らし。ある日、彼女は意識不明の重態に陥り、気がついたときには盲目になっていた。そんなときに会ったのが町のよろず修理屋ミッチ。彼らはお互いに恋心を抱くが…。心温まる感動の物語。 〈言語材料〉 (語句) go on / just a few / come over / be in love with ~ / have ~ in common	・男女がお互いをよく知ろうとするときにどのようなことを話すものか、自分の意見を書く。 ○ライティング ・人を好きになったきっかけなどについてお互いに話し合う。 ○ペアワーク			
		Listening Practice 2 (イディオムについて聞く) (1)	・概要を把握し、聞き取るべき情報をとらえる。			
	【課題・提出物等】 1. 課題：『ワークブック』と、指導書セット内のワークシート類の中で指示されている箇所を予習。 2. 提出：『ワークブック』と、指導書セット内のワークシート類 (ともに Lesson1～Reading), セクションごとのサマリー (50 words 程度), および「○ライティング」で示した活動において実施した英文を提出。					
	【第1学期の評価方法】 1. 評価対象：中間考査および期末考査の成績、各課の小テスト (指導書セット内の『評価用テスト問題』を活用), スピーキングテスト (各課で扱われた話題に関して自分の意見や考えを述べる) やプレゼンテーションテスト, 授業時間内のペアワークやグループワークへの取り組み状況, 課題提出状況 2. 評価配分：中間考査および期末考査の成績－50%, 小テスト－15%, スピーキングテスト・プレゼンテーションテスト－15%, ペアワークやグループワークへの取り組み－10%, 課題提出－10%					

学期	月	学習内容とねらい (配当時間)	備考 (学習活動の特記事項, 他教科・総合的な学習の時間・特別活動等との関連など)	考查範囲
第2学期	9月	Lesson 5 That Night Changed My Life! (10) 〈題材〉40代半ばでタレント・オーディション番組に参加し、一夜にして時の人となった英国の歌手スーザン・ボイル。そのシンデレラストーリーと、それまでに彼女が歩んできた苦難の生活について読む。夢と感動に満ちた教材。 〈言語材料〉 (文法) be 動詞の進行形 / if(節)の省略された仮定法 (語句) work out / without a doubt / go on to ~ / compare ~ to ... / shut ~ up / take part in ~ / lose to ~	・小さい頃になりたかったものや職業, また現時点で将来に就きたいと思っている職業について書き, 互いに発表し合う。 ○ライティング・ペアワーク ・夢を叶えるためにはどのようなことが必要かをグループで話し合い, クラスで発表する。 ○グループワーク・プレゼンテーションテスト	第2学期 中間 考查
	10月	Lesson 6 How to Build a Dinosaur (10) 〈題材〉映画『ジュラシック・パーク』のように, 恐竜を現代によみがえらせることは可能なのだろうか。古生物学者ジャック・ホーナー氏の魅力的なプレゼンテーションを通して, その可能性をさぐる。 〈言語材料〉 (文法) * to 不定詞の完了形 / by the time+S+V (語句) attempt to do / go for ~ / get rid of ~ / to one's liking	・恐竜をよみがえらせることへの賛否を, 理由を含めながら書く。賛否それぞれのグループで話し合い, ディベートをする。 ○ライティング ○グループワーク・プレゼンテーションテスト ・過去にさかのぼることができるのであれば, どの時代に行きたいか, 時代とその理由についてグループで話し合い, クラスで発表する。 ○グループワーク・プレゼンテーションテスト	
		Action! 3 ホテルでのやりとり (1) 〈機能・表現〉申し出る / 驚く / 感謝する / 命令する / 仮定する	・ロールプレイを行い, 体調不良になった時の症状の伝え方を身につける。また, 体調を表す語(句)を調べる。	
		Reading Practice 1 (広告を読む) (2)	・速読し, 読み取るべき情報を把握する。	
		Listening Practice 3 (予期せぬ出来事について聞く) (1)	・概要を把握し, 聞き取るべき情報をとらえる。	
第2学期	11月	Lesson 7 "Hot" Lunches in Mumbai (10) 〈題材〉インドのムンバイには, ダバワラと呼ばれる弁当配達人がいる。彼らはモンスーンが吹くのが政治抗争が起きようが, 毎日各家庭から弁当を収集し, 届け先に正確に配達する。彼らの驚異の配達システムとは, どのようなものなのだろうか。またムンバイではなぜ彼らが必要とされているのだろうか。 〈言語材料〉 (文法) 名詞のくり返しを避ける that / 動詞を名詞にする接尾辞 (語句) instead of ~ / on top / by ~ standards / by word of mouth	・好きな昼食のスタイルについての長所と短所を, 理由を含めながら書く。それぞれのグループで話し合い, ディベートをする。 ○ライティング ○グループワーク・プレゼンテーションテスト ・ムンバイについての情報をグループで調べ, クラスで発表する。 ○グループワーク・プレゼンテーションテスト	第2学期 期末 考查
	12月	Lesson 8 Saving Orphaned Animals (10) 〈題材〉ケニアで動物の孤児院を運営するダフネ・シェルドリックの活動と, その活動を手助けしたエレナという名のゾウとの交流を描いた心温まる物語。 〈言語材料〉 (文法) *倒置(否定語を伴う文) / to one's+感情を表す名詞 (語句) devote oneself to ~ / take one's place among ~ / little by little / in particular	・人間と同じような感情や社会性をもつ動物を挙げ, 理由を含めながら書き, 互いに発表し合う。 ○ライティング ・乱獲などにより絶滅の危機に瀕している動物についてグループで調べ, クラスで発表する。 ○グループワーク・プレゼンテーションテスト	
		Listening Practice 4 (実際にあった出来事について聞く) (1)	・概要を把握し, 聞き取るべき情報をとらえる。	
		Reading Practice 2 (説明文を読む) (2)	・速読し, 読み取るべき情報を把握する。	

<p>【課題・提出物等】</p> <p>1. 課題：『ワークブック』と、指導書セット内のワークシート類の中で指示されている箇所を予習。</p> <p>2. 提出：『ワークブック』と、指導書セット内のワークシート類（ともに Lesson 5～Lesson 8）、セクションごとのサマリー（50 words 程度）および「〇ライティング」で示した活動において実施した英文を提出。</p>
<p>【第2学期の評価方法】</p> <p>1. 評価対象：中間考査および期末考査の成績、各課の小テスト（指導書セット内の『評価用テスト問題』を活用）、プレゼンテーションテスト（スピーキングテスト：各課で扱われた話題に関して自分の意見や考えを述べる）、授業時間内のグループワークへの取り組み状況、課題提出状況</p> <p>2. 評価配分：中間考査および期末考査の成績－50%、小テスト－15%、スピーキングテスト・プレゼンテーションテスト－15%、ペアワークやグループワークへの取り組み－10%、課題提出－10%</p>

学期	月	学習内容とねらい (配当時数)	備考 (学習活動の特記事項、他教科・総合的な学習の時間・特別活動等との関連など)	考査範囲
第3学期	1月	Action! 4 お礼のメール (2) <機能・表現> 感謝する / 説明する / 依頼する	・メールや手紙で使う表現を学ぶ。また、“Thank you.”以外に「感謝」を表す表現にどのようなものがあるか調べる。	学年末考査
		Enrich Your Vocabulary! ① (接頭辞) (1)	・接頭辞について理解を深め、未知の単語の意味を推測する力を養う。	
		Lesson 9 What Is Needed for Success? (10) <題材> 古今東西の成功者に共通するのは、どのようなことなのだろうか。カナダのプロホッケー選手、モーツァルト、ビートルズ、ビル・ゲイツの例をもとに、成功に不可欠な要素を知る。 <言語材料> (文法) 補語が関与する倒置 / *同格の that (語句) think of ~ as ... / bear ~ in mind / drop out of ~ / by contrast	・日本人 U-14 サッカー選手の誕生月分布のグラフを読み取り、結果分析やその理由を考える活動を グループ で行い、 クラス で発表する。 〇グループワーク・プレゼンテーションテスト ・高校卒業後の人生において、「自分にとっての成功とは何か」を書く。 〇ライティング	
	2月	Lesson 10 Amazing Grace: Song to Soul (10) <題材> 米国の第2の国歌とも言われる「アメージング・グレース」。歌詞誕生に秘められたエピソードを読み、人権の尊さについて学び、その大切さを理解する。 <言語材料> (文法) 補語の名詞に冠詞をつけなくてもよい場合 / *付帯状況の with / come + to 不定詞 (語句) 否定語 + ~ without doing / on average / use up ~ / nothing much / have no choice but to do / at ease / be familiar with ~ / lose time	・日本でよく知られている外国の曲を挙げ、その曲に関する背景を グループ で調べ、 クラス で発表する。 〇グループワーク・プレゼンテーションテスト ・現在流行っている歌のなかで、「10年後も人気があると思う歌」を書く。 〇ライティング	
		Enrich Your Vocabulary! ② (接尾辞) (1)	・接尾辞について理解を深め、未知の単語の意味を推測する力を養う。	
	<p>【課題・提出物等】</p> <p>1. 課題：『ワークブック』と、指導書セット内のワークシート類の中で指示されている箇所を予習。</p> <p>2. 提出：『ワークブック』と、指導書セット内のワークシート類（ともに Lesson 9～Lesson 10）、セクションごとのサマリー（50 words 程度）および「〇ライティング」で示した活動において実施した英文を提出。</p>			
<p>【第3学期の評価方法】</p> <p>1. 評価対象：学年末考査の成績、各課の小テスト（指導書セット内の『評価用テスト問題』を活用）、プレゼンテーションテスト（スピーキングテスト：各課で扱われた話題に関して自分の意見や考えを述べる）、授業時間内のグループワークへの取り組み状況、課題提出状況</p> <p>2. 評価配分：学年末考査の成績－50%、小テスト－15%、プレゼンテーションテスト（スピーキングテスト）－15%、グループワークへの取り組み状況－10%、課題提出－10%</p>				

【年間の学習状況の評価方法】

第1学期、第2学期および第3学期の成績を総合し、年間の学習成績とする。

(注) 言語材料のうち、*はⅡ巻での学習事項を表す。

生徒へのアドバイス

<p>確かな学力を身につけるためのアドバイス</p>	<p>英語の学力とは、情報や考えなどを的確に理解したり、適切に伝えたりすることができることである。具体的には、英語を聞いたり読んだりして、そこにある情報や考えを理解し、まとめたり要点をとらえたりすることであり、もう一つは、学んだり経験したりしたことに基づき、英語で情報や考えを話し合ったり書いたりすることである。</p> <p>そのためには、英語による情報を聞いたり読んだりして、できるだけ多くの情報を取り入れる時間を作ることが必要であり、また、英語で話したり書いたりして、できるだけ英語を使う機会を増やすことが必要である。具体的には、教科書の本文をまとめたり、自分が感じたことを書いたり話し合ったりする活動が考えられる。</p> <p>そして、この「聞く」「話す」「読む」「書く」という能力を支えるのが文法であり、語彙力である。どちらも単に覚えるだけでなく、実際に使ってみるという視点を忘れてはならない。</p>
<p>授業を受けるに当たってのアドバイス</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ペアワークやグループワークでは、積極的に英語を使うようにする。わからないと思って黙ったり、日本語で話したりすることなく、簡単な文構造や語彙を用いて表現することが大切である。 ・プレゼンテーションやスピーチにおいては、聞き手を意識することが重要である。 ・日本語に直して理解しようとするのではなく、英語の語順のまま意味をとるように心がける。 ・辞書を活用し、単語・連語・慣用表現の意味や発音を確認するとともに、例文などを通じて、使い方をしっかり調べることが大切である。

(2) 評価の観点、内容および評価方法

評価の観点および内容		評価方法
<p>関心・意欲・態度</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーション活動に興味や関心を持ち、積極的に言語活動に参加し、コミュニケーションを図ろうとしているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ペアワークやグループワークへの参加態度を観察 ・自己評価 ・学んだ表現を積極的に使おうとしているか。
<p>外国語表現の能力</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本文の内容について自分の意見や感想を英語で論理的に表現できるか。 ・聞き手を意識して音読できるか。 ・発話の際の発音・リズム・イントネーションは適切か。 	<ul style="list-style-type: none"> ・『ワークブック』 ・ペアワークへの参加態度を観察 ・スピーキングテスト ・プレゼンテーションテスト ・サマリー、エッセーライティング ・音読テスト ・定期考査のライティング問題
<p>外国語理解の能力</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本文の内容やその話題に関する英語を聞いたり読んだりして、話し手や書き手の意図を理解したり、概要や要点をとらえることができるか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・『ワークブック』 ・定期考査のリーディングやリスニング問題
<p>言語や文化についての知識・理解</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーション活動の実践を支える必要な語彙、発音、文法などに関する知識、文化の違いについて理解しているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・『ワークブック』 ・セクションごとの単語・熟語・表現テスト ・定期考査